

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年6月18日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>≪委託研究Ⅲ≫</p> <p>エ. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学習の状況を的確に把握する方法及び個に応じた指導の在り方について ・入学希望既卒者受け入れによる、課題の整理と解決方法について ・日本語指導の充実の在り方について
調査研究のねらい	<p>○ 既卒者の受け入れにより、若年層や高校進学を希望する生徒の入学希望者が増えるなど、生徒の多様化が進みそれに伴って新たな課題も生じている。</p> <p>また、希望者が増加したとは言え、まだまだ夜間学級に関する情報が行きわたっていないとは言えず、さらなる広報が必要である。</p> <p>課題を整理し、解決方法について調査研究することにより、多様な生徒の受け入れ拡大を図るための環境整備につなげる。</p> <p>○ 外国にルーツをもつ生徒が全体の8割を占めており、また、生徒個々の日本語の習熟度や学習状況についても様々である。</p> <p>入学希望既卒者である、ないにかかわらず、個々の生徒に応じた指導方法等について研究することにより、基礎・基本の定着を図り、生徒一人ひとりの日々の生活の質の向上を目指す。</p>
調査研究の成果	<p>○ 進学希望など、個々のニーズに応じた学習支援の在り方について研究し、実践につなげた。また、生徒の実態把握や、カウンセリング等支援の在り方について校内研修を実施した。これらを通し、生徒支援体制の充実を図った。</p> <p>○ 期間を通し、学習指導においては、特に生徒一人ひとりの日本語能力の実態把握の方法及びその結果を基に日本語を読むこと、書くことの指導方法について調査研究し、基礎・基本の定着に向けた指導方法の研究に取り組んだ。</p> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議 『テーマ：学力の基礎となる日本語力を高めるための、教材の工夫について』 <p>新しいテキストの活用方法や教材について協議を行った。また、生徒の指導計画と評価方法について検討を行った。</p> <p>【7月】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 『テーマ：法制定後の夜間学級の状況や今後の展望について』 講師を招いて基礎的な知識を学ぶとともに、本学級の現状に照らした事例研究を行い、助言を得ることにより、今後の個別のニーズに対する指導方法について研修を実施した。 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校視察 今年度4月に夜間学級が開設された川口市を視察し、若年層の生徒や日本語の指導方法、夜間学級についての周知方法などを学んだ。 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の実施 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 『テーマ：実態調査の内容の分析』 個々の生徒の学習状況や進路希望などについて校内での情報共有を図った。また、高校進学希望生徒については、今後新たに指導計画を立案する。 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校視察 全国夜間中学校研究大会に参加し、分科会や授業見学を通して、入学希望既卒者受け入れの現状や、各教科の指導方法等について学んだ。 <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文集作成 1年間の学習成果をまとめた文集を作成した。 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 『テーマ：夜間中学校の今の課題を考える』 講師を招き、形式卒業者受入れ後の、現状と課題について知り、本校生徒の指導方法の方向性を導き出した。 ・総括会議 最終的な個々の生徒の学習状況についての情報共有を図り、次年度の課題についての協議を行った。
--	---